

三寒四温

詩曲 鈴木こう



かぜがげんきに とんできた はるがそこまで きています
かぜがゆっくり やーてきた はるはいつにな ーたらば



そこでひとばん まーてみた で もきょうも おーさむい
きいてみてもー しらんかお だ まあつて すぎてゆく



いつになつたら あたたかくなるのか
ふゆも はるも おしくらまんじゅーで



だれに もん くも いえま せん
そして はるが くるので しょう

| | | | |
|--|--|---|---|
| <p>二</p> <p>来そ押冬黙 るししくも のてく春も でがらま しうがまんじゅうで</p> | <p>聞春風 いてはが つていゆ みつづく 過ぎても ゆるく 知らんら 顔ばきた</p> | <p>一</p> <p>言誰暖い えにかつ ま文く せん句なる もなる のた から</p> | <p>そ春風 こでそ元 今一そ気 も晩まに お待 飛 おっ 来 お寒 っ いみ て た た す</p> |
|--|--|---|---|

三寒四温

鈴木こう